

国際世論示す休戦決議

国連総会 反対14票 米、孤立傾向

国連総会(193カ国)が27日、イスラエルとハマスの軍事衝突をめぐり「敵対行為の停止につながる人道的休戦」を求め、決議案を採択したことは、国際世論の劇目の変化を浮き彫りにした。激しい空爆などで人道危機を引き起こしているイスラエルや、イスラエルを支える米国の、数の上では世界で孤立している傾向が示された。

ど14カ国が反対する一方、120カ国が賛成した。ハマスを明確に非難する文言を入れるよう求める修正案を出したカナダや、カナダに賛同した日英独伊を含め、棄権した国も40カ国超に上る。今回の危機では、本来責任を負うべき国連安全保障理事会が、拒否権を持つ米口などの対立で機能していない。総会の採決結果は「休戦」とは言えないが、「休戦」が国際社会の一定の意思として示されたことになる。パ

レスチナのマンズール国連大使は「我々は勝利した」と述べた。幅広い支持を募るため決議案では「休戦」(truce)の文言が用いられた。ハマスの奇襲を受け、たイスラエルの自衛権の正当性を重視する欧米では「停戦」(ceasefire)という用語への拒否感が強かった。パレスチナ自治区ガザ地区への人道支援の許可や民間人保護に加え、ガザ北部の住民や国連職員に出した南部への避難要求の撤回などを

国連総会での投票行動 (米東部27日夜の国連発議に基づく)

賛成=120カ国
アフガニスタン、アルジェリア、アンゴラ、アルゼンチン、アルメニア、アゼルバイジャン、バーレーン、ベラルーシ、ベルギー、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ボツワナ、ブラジル、中国、コロンビア、コスタリカ、コートジボワール、キューバ、北朝鮮、コンゴ民主共和国、ジブチ、エジプト、フランス、ガボン、インドネシア、イラン、アイルランド、ヨルダン、カザフスタン、ケニア、クウェート、レバノン、リビア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルク、マレーシア、モルディブ、マリ、マルタ、メキシコ、モンゴル、モンテネグロ、モロッコ、モザンビーク、ミャンマー、ナミビア、ネパール、ニュージーランド、ニジェール、ナイジェリア、ノルウェー、オマーン、パキスタン、ペルー、ポルトガル、カタール、ロシア、サウジアラビア、セネガル、シンガポール、スロベニア、ソロモン諸島、ソマリア、南アフリカ、スペイン、スリランカ、スーダン、スイス、シリア、タイ、東ティモール、トルコ、ウガンダ、アラブ酋長国連邦、タンザニア、ベトナム、イエメン、ジンバブエなど

反対=14カ国
オーストリア、クロアチア、チェコ、フィジー、グアテマラ、ハンガリー、イスラエル、マーシャル諸島、ミクロネシア、ナウル、パプアニューギニア、パラグアイ、トンガ、米國

棄権=45カ国
アルバニア、臺灣、ブルガリア、カボベルデ、カメルーン、カナダ、キプロス、デンマーク、エストニア、エチオピア、フィンランド、ジョージア、ドイツ、ギリシャ、ハイチ、アイスランド、インド、イラク、イタリア、日本、キリバス、ラトビア、リトアニア、モナコ、オランダ、北マケドニア、パラオ、パナマ、フィリピン、ポーランド、韓国、モルドバ、ルーマニア、サンマリノ、セルビア、スロバキア、南スーダン、スウェーデン、チュニジア、ツバル、ウクライナ、英国、ウルグアイ、バヌアツ、ザンビア

無投票=14カ国
ベナン、ブルキナファソ、ブルンジ、カンボジア、エスワティニ、ジャマイカ、リベリア、ルワンダ、サモア、サントメ・プリンシペ、セーシェル、トーゴ、トルクメニスタン、ベネズエラ

ラエルに対し、アラブ世界の憤りをこう代弁した。「家族全員を銃で撃ち殺すことは間違っていない、空爆で殺すことは間違っていない」とも言うのか。明らかに「二重基準だ」と追い風を受け止めるのが、米国の行動を「偽善と二重基準」と批判して「国連大使」と批判してきたロシアだ。プーチン大統領は、ハマスとイスラエルの軍事衝突の背後に、覇権維持を狙う米欧の陰謀があるとの主張を展開。ウクライナ侵攻の正当化にも利用しようとしている。アラブ諸国やイランの首脳らと協議を重ね、仲介外交にも意欲を示している。(ニューヨーク=津田寛生、ワシントン=下岡佳代子)

要請する内容となった。ただ、拘束力を持たない総会決議が自制を促す効果は期待しづらい。イスラエルのエルダン国連大使は「国際社会の大半はイスラエルより『ナチスのテロリスト』を支持した」と非難し、攻撃を

止めないと繰り返した。米國が、ロシアのウクライナ侵攻では比較的得やすかった道義的優位を失いつつある状況も浮き彫りになった。「テロ攻撃の加害者を名指ししないのは言語道断。人質になっている無実の人々への

言及もない」。米國のトランプ大統領は決議案の反対理由をそろそろ説明した。ただ、安保理の常任理事国として風みを持つ同盟国フランスさえ同調をせられなかった。アラブ諸国との隔たりもあらわ

になった。今回の決議案をまとめたのは、バイデン政権が危機を收拾する上で重視してきたヨルダンだった。ヨルダンのラニヤ王妃は、24日に放映された米CNNの番組で、ハマスの残虐行為を訴えるイス